

SEKISUI

健康内装材

Gaudia®

～大地から生まれた呼吸する壁～

施工マニュアル



いい空気と住もう

家族の健康 × 地球の環境

セキスイボード株式会社

「ガウディア」施工マニュアルをご利用の前に

この施工マニュアルの主旨

- 「ガウディア施工マニュアル」には、「ガウディア」工事に関わる標準的な施工方法を示してあります。「ガウディア」の工事にあたっては、必ずこのマニュアルをお読みの上、工事を行っていただきますよう、よろしくお願いいたします。
- 「ガウディア施工マニュアル」は、一定の施工品質を確保するための施工方法を示しています。施工方法を独自に実施する場合は、「ガウディア施工マニュアル」の主旨をご理解いただき、施工品質の確保を前提とした施工に努めてくださいますよう、よろしくお願いいたします。
- パネルの取り扱い方法、保管方法、施工材料、施工上の禁止事項、適用範囲等で「ガウディア施工マニュアル」に記載のない事項については、別途ご確認や問い合わせの上、施工してください。

「ガウディア施工マニュアル」に示される使用マークの意味

 このマークは注意事項を記載した見出し、文章の前に表示しています。	 注意 このマークは取り扱いを誤った場合に、人が障害を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定される箇所に表示しています。特によくお読みの上で承知ください。	 警告 このマークは取り扱いを誤った場合に、人の生命又は身体に危険な状態が生じることが想定される箇所に表示しています。特によくお読みの上で承知ください。このマークは、禁止事項を記載した箇所に表示しています。特によくご確認の上、ご承知ください。
---	--	--

 注意 せっこうボード釘の頭等、突起物が出ている場合には、必ず修正してから施工してください。そのまま施工すると、見栄えが悪くなるだけで「ガウディア」に割れが発生する危険があります。	 注意 改修の場合は、下地材の上のクロスは除去してから施工することを原則とします。クロスの裏打ち紙については、可能な限り剥がしてください。下地とクロスの接着が弱まっている可能性があります。「ガウディア」ごと剥がれる恐れがあります。また、クロスの種類によっては、接着剤の付着性が著しく落ちるものがあります。
 注意 仮置き場所は、屋内の平坦な場所に保管してください。又、仮置き時の積み高さは5段までとします。屋外には置かないでください。	 クロス下地の改修工事の場合、既存クロスを剥がしてから貼り付けてください。クロスの除去に際しては、できるだけ裏打ち紙も除去してください。
 注意 ディスクサンダーを使用の場合は、保護具を着用して集塵を行ってください。また、室内では行わず、集塵対策も施すこと。	 もみ込み方が弱いと所定の接着強度が出ずにパネルが脱落する可能性があります。十分に、もみ込んでください。
 詳細につきましては、直接メーカーにお問い合わせください。ご使用にあたっては、製品に記載の取扱上の注意事項をよくお読みください。専用接着剤以外を使用する場合は、使用者責任となります。	 詳細につきましては、直接メーカーにお問い合わせください。ご使用にあたっては、製品に記載の取扱上の注意事項をよくお読みください。専用シーリング剤（カラットコーク）以外を使用する場合は、使用者責任となります。
 警告 手すり等、大きな繰り返し荷重が掛かるような部位の場合は、「ガウディア」と構造ブランクットとは完全に縁を切ってください。直接取り付けると脱落する恐れがありますので、絶対に行わないでください。	 汚れの度合いによって完全に除去できない場合があります。
 注意 酸性の洗剤は使用しないでください。変色、変質のおそれがあります。	

	ページ
施工マニュアルをご利用の前に	01
目次	02
1. 適用範囲	03
1-1. 使用可能な部位	
1-2. 使用可能な範囲	
1-3. 使用可能な環境	
1-4. 使用可能な下地	
1-5. 改修工事	
2. 商品仕様及び施工材料	04
2-1. 「ガウディア」	
2-2. 接着剤	
2-3. 両面テープ	
2-4. シーリング材	
2-5. 見切り材	
3. 施工用工具	05
3-1. 割付け・墨出し	
3-2. 接着	
3-3. 切断・加工・面取り	
3-4. 穴あけ	
3-5. シーリング	
4. 施工方法	06
4-1. はじめに	
4-2. 材料搬入の注意	
4-3. 周囲の養生	
4-4. 下地のチェック	
4-5. 割付け・墨出し	07
4-6. 切断・穴あけ加工	
4-7. パネルの接着・貼り付け	09
4-8. シーリング処理	11
4-9. 仕上がり確認・補修・清掃	
4-10. その他の注意事項	
5. 維持管理について	12
5-1. シーリング処理	
5-2. 日常のお手入れ	
5-3. 汚れの落とし方	
5-4. 使用不可の道具	
6. 免責事項	13

1-1. 使用可能な部位

- 「ガウディア」は、殆どの建物の屋内における壁面に仕上げ材として使用することができます。(リビング、トイレ、洗面所、台所、玄関、廊下など)
- 新築・リフォームを問わず使用できますが、施工方法等に若干の違いがあります。なお、屋外の壁面・天井・浴室及び床面への使用はできません。
- 使用可能範囲内ではあっても、水がかりとなる部分(流し廻り、業務用厨房、公共トイレなど)、高温になる部分及び汚れが懸念される部分(レンジ廻り)への使用は避けてください。

1-2. 使用可能な範囲

- 高さの制限：2層吹抜まで、かつ10m以下とします。
- 長さの制限：連続壁として使用する場合は20m以下とし、
20mを超える場合は伸縮目地を設けてください。
- 斜め壁の制限：垂直内壁のみとし、斜め壁には使用しないでください。

1-3. 使用可能な環境

- 室内が高温となる建物、室内が高湿となる建物などへの使用はできるだけ避けてください。
- 特殊条件下での使用は避けてください。
- その他、判断しかねる場合は、ご相談ください。

1-4. 使用可能な下地

「ガウディア」を内装仕上げ材として使用する場合には、必ず下地が必要となります。

以下に「ガウディア」の下地として使用できるものを示します。

下 地 材	条 件	面 精 度
せっこうボード	厚さ9.5mm以上	±1.0mm/2m以内 ※これを超える場合は 不陸調整が必要です。
合板	厚さ5.5mm以上	
スレートボード (フレキシブル板)	厚さ4.0mm以上 (オートクレープ養生品)	
ケイ酸カルシウム	比重1.0、厚さ6mm以上	
モルタル	養生1ヶ月以上経過のもの	
コンクリート素面		



注意

せっこうボード釘の頭等、突起物が出ている場合には、必ず修正してから施工してください。そのまま施工すると、見栄えが悪くなるだけで「ガウディア」に割れが発生する危険があります。

1-5. 改修工事

- 著しい劣化やカビ、水濡れ等が発生している場合は、下地から改修してください。
- クロスが傷んでいなく、しっかり下地に付着している場合は、クロスの上からの施工も可能です。クロスの継ぎ目等将来的に剥がれないようにホッチキス等で補強することをおすすめします。



注意

改修の場合は、下地材の上のクロスは除去してから施工することを原則とします。クロスの裏打ち紙については、可能な限り剥がしてください。
下地とクロスの接着が弱まっている可能性があり、「ガウディア」ごと剥がれる恐れがあります。また、クロスの種類によっては、接着剤の付着性が著しく落ちるものがあります。

2. 商品仕様及び施工材料

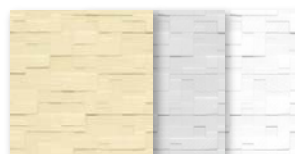
Gaudia®

2-1. 「ガウディア」

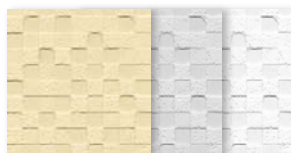
外 寸	303×303mm
厚 み	レンガ／7.0mm(最大箇所) グリッド／6.5mm(最大箇所) モザイク／6.0mm(最大箇所) ストーン／9.0mm(最大箇所)
寸法許容誤差	外形寸法／±0.8mm 厚み／±0.7mm
色	レンガ・グリッド・モザイク／ベージュ・グレー・ホワイト ストーン／ダークグレー・ホワイト (現物やカタログにて確認ください。)
荷 姿	専用段ボール箱入り
容 量	11枚入り／箱(総面積約1㎡／箱、重量約8.5kg／箱)



レンガ



モザイク



グリッド



ストーン



荷姿

2-2. 接着剤

名 称	内装タイル用張り用接着剤(アクリルエマルジョン) セラミックボンド GLバック・#GL30・#GL20 JAIA F☆☆☆☆ / 4VOC基準適合
容 量	4kg／ラミネート袋 20kg／ペール缶
用 途	内装材にクシ目塗布での施工で使用
製 造 元	タイルメント株式会社

※変成シリコン系ほか他の接着剤は使用しないでください。



4kgラミネート袋



20kgペール缶

2-3. 両面テープ

名 称	発泡両面テープ
形 状	巾9mm × 長さ10m(基材厚み1mm)／巻
用 途	ガウディア、見切り材等の仮固定用



両面テープ

2-4. シーリング材

名 称	カラットコーク 「エコカラット」専用コーキング剤
容 量	250ml／本
色	ベージュ(色コード:A3) グレー(色コード:SLA3) ホワイト(色コード:SP1)
用 途	出入隅・他部材等の取合いに使用
製 造 元	LIXIL株式会社

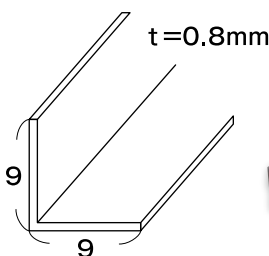
※色があっても、変成シリコン系ほか他のシーリング材は使用しないでください。



カラットコーク

2-5. 見切り材

名 称	等辺L型アルミ製アングル 「ガウディア」同色専用タイプ
長 さ	3,640mm／本
色	ベージュ・グレー・ホワイト・木目
用 途	出入隅・切断部に使用



Lアングル

3. 施工用工具

Gaudia®

3-1. 割付け・墨出し



スケール(メジャー)



墨つぼ



下げ振り

3-2. 接着



櫛目コテ



櫛目ヘラ



コテ板(接着剤をのせる板)

3-3. 切断・加工・面取り



ディスクサンダー(ダイヤモンドホイール)



防塵丸のこ



スケール



カッター



弓のこ



ボードヤスリ

- サンドペーパー
- ハンドサンダー

3-4. 穴あけ



電動ドリル



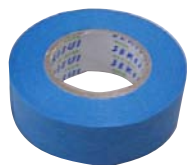
ファルソー

- 引廻しノコ
- ホールソー

3-5. シーリング



シーリングガン



マスキングテープ



ヘラ

4-1. はじめに

- ①「ガウディア」の種類(柄・色)、施工範囲、貼り方(馬目地貼り・芋目地貼り・貼り上げ・貼り下げ)、貼り分け方法を確認してください。
- ②材料関係の搬入時期、及び施工期間の確認は入念に行ってください。
- ③割付けの基準位置、及び詳細部分の納まりによって、仕上りが大きく異なることがあります。
- ④巾木・天井との取合い、出入隅の納まり等を確認してください。
- ⑤残材処理方法:残材は「ガラス・コンクリート・陶磁器くず」に準ずるものとして法律^{注)}に従って処理してください。

^{注)}廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【参考】推奨施工面積

部屋 (広さ)	リビング (12畳)	寝室 (8畳)	寝室 (6畳)	洗面室 (3畳)	トイレ (1畳)
施工面積目安	7~9㎡	4.5~6㎡	3.5~4.5㎡	3~3.5㎡	2~3㎡

※ 推奨施工面積は、あくまでも目安です。施工後の効果を保証するものではありません。

※ 天井高を2.5mとして算出しています。およそ、部屋の壁1面程度です。

4-2. 材料搬入の注意

- ①「ガウディア」は宅配便での配送となります。
- ②荷受時の確認:受領時には、「ガウディア」の品種・数量及び副資材の数量等について、納品書との照合を行ってください。また、開封して「ガウディア」に欠け・亀裂が発生していないかどうか確認してください。(箱の外観に損傷等が見受けられた場合は、必ず開封してご確認ください)



注意

仮置き場所は、屋内の平坦な場所に保管してください。又、仮置き時の積み高さは5段までとします。屋外には置かないでください。

4-3. 周囲の養生

- ①施工に際し、接着剤やパネルで、床を汚したり傷つけたりしないように、施工前に床面の養生を行います。
- ②切断や穴あけ等パネルの加工をする場所も、加工時に発生する粉塵で汚さないように広く養生を行います。

4-4. 下地のチェック

- ①下地の面不陸は、水平方向・垂直方向共に±1.0mm/2m以内としてください。
下地の不陸が大きい場合には「ガウディア」間に段差・不陸が生じ、仕上りが悪くなるだけでなく、割れ・欠けの原因になる可能性があります。又、巾木の水平精度、出入隅部の垂直精度を確認してください。

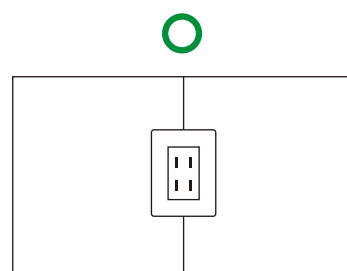
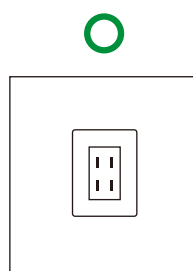
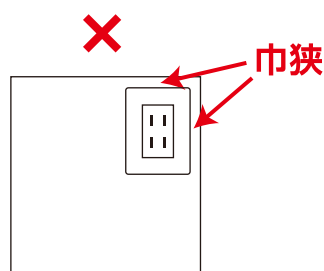


クロス下地の改修工事の場合、既存クロスを剥がしてから貼り付けてください。
クロスの除去に際しては、できるだけ裏打ち紙も除去してください。

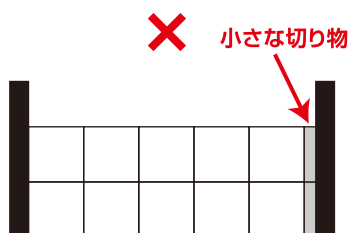
4-5. 割付け・墨出

「ガウディア」を効率よく、きれいに仕上げるには、貼り付けに先立って適切な割付け及び墨出しをすることが重要です。以下のことを心がけてください。

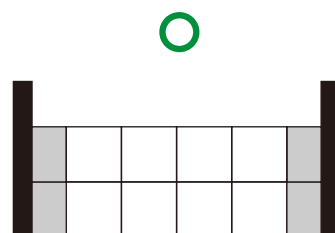
- ①「ガウディア」は、下からの貼り上げを原則とし、相互間の目地は突き付けを標準とします。
- ②入隅部、他部材との取合い部は、適切なクリアランスを設けてください。
- ③出隅部は隙間2mm以下になるように施工してください。
- ④窓枠やドア枠、スイッチボックス、コンセントボックス等の位置に留意し、極端な巾狭加工とならないように割付けてください。(加工時割れ易くなります。)



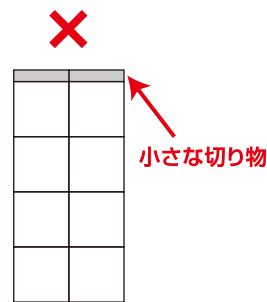
- ⑤切断時の最小巾は、10mm以上が目安です。
- ⑥施工面に水平・垂直精度の不良があった場合は、精度不良があった方向の両サイドに切断パネルがくるよう割付けてください。



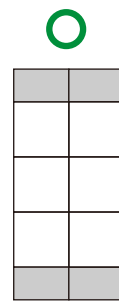
不適切な割付け



適切な割付け方法



不適切な割付け



適切な割付け方法

4-6. 切断・穴あけ加工

「ガウディア」の切断や穴あけ・切削等の加工を行う際は、材料の割れ・欠けを防ぐために、適切な工具を用いて、しっかりとした加工台の上での作業をおすすめします。

I. 直線の切断

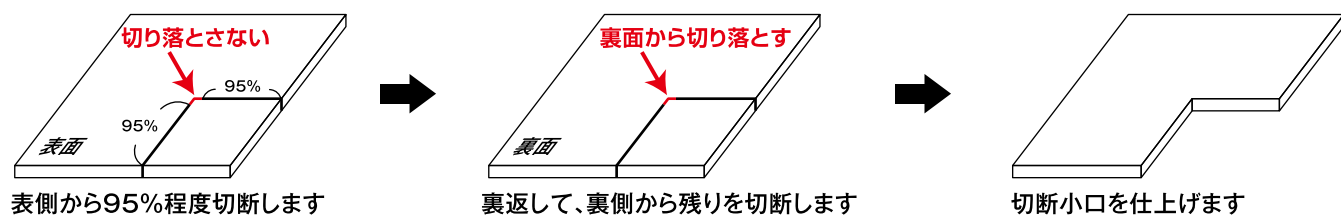
- ①直線の切断は、ディスクサンダーや防塵丸ノコを用いると容易に切断ができ、切断面もきれいに仕上がります。
- ②工具を使用する際は、事前に取扱説明書をお読みください。
- ③ダイヤモンドホイールを使用してください。他のホイールを使用すると、切断面が損傷するおそれがあります。
- ④切断するときは、「ガウディア」がぶれないようにしっかりと押さえてください。
- ⑤切断時は集塵対策を施し、ゆっくりと行ってください。
- ⑥切断部分の小口は、ハンドサンダー・ボードヤスリ等を用いて、きれいに整えてください。
- ⑦手加工の場合は、弓のこを使用します。



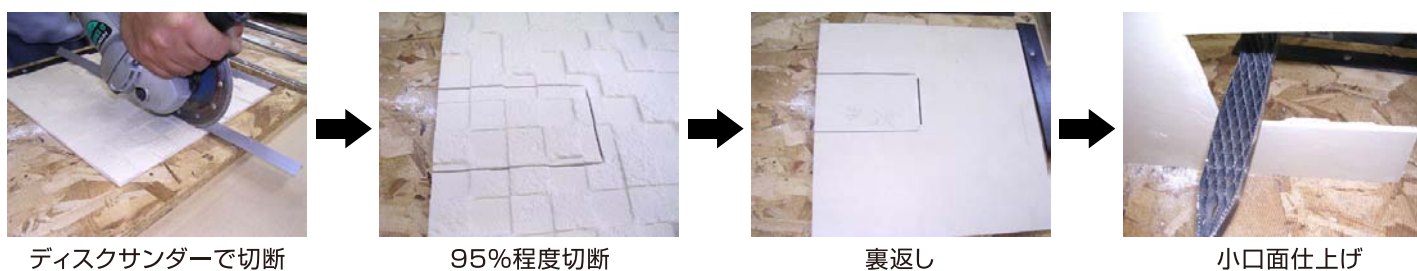
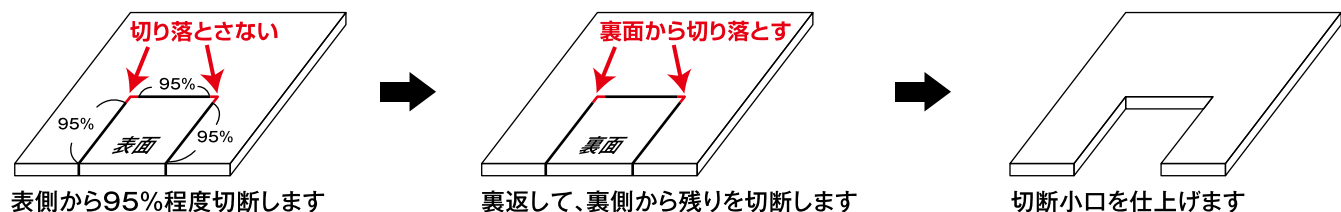
II. L字・コの字の切断

L字・コの字の切断も、直線の切断と同様、ディスクサンダーや防塵丸ノコを使用します。

L字加工の例

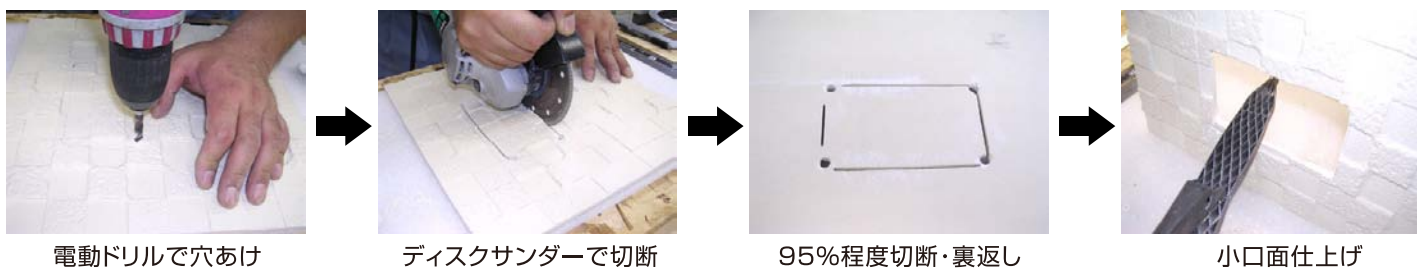
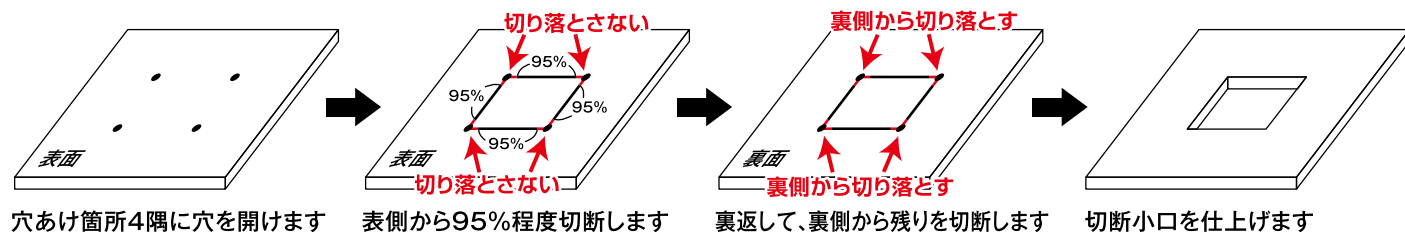


コの字加工の例



III. 穴あけ

コンセントボックス・スイッチボックス等の穴あけは「電動ドリル」と「ディスクサンダー」を用います。



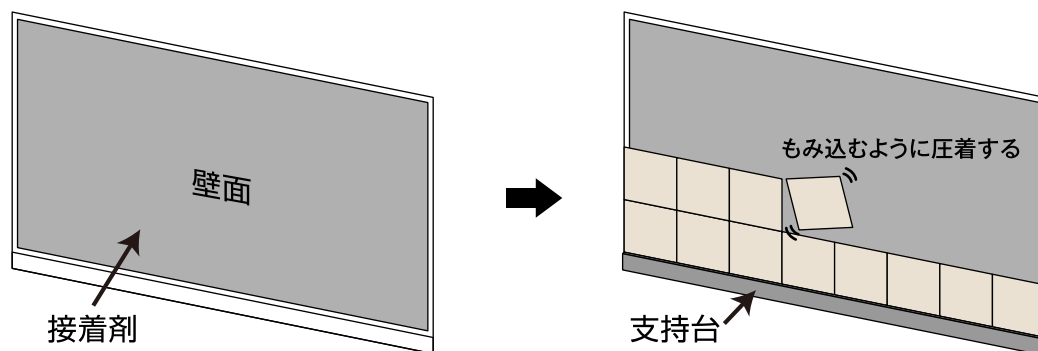
注意

ディスクサンダーを使用の場合は、保護具を着用して集塵を行ってください。
また、室内では行わず、集塵対策も施すこと。

4-7. パネルの接着・貼り付け

I. 接着剤全面塗布方式

- ① コテで専用接着剤セラミックボンド(GLパック・GL20・GL30)を壁面に均等に塗布する。
接着剤は一度に多く塗りすぎると、貼り付け前に硬化してしまう恐れがあります。**20分以内を目安に施工してください。**
- ② 櫛目ゴテで櫛目立てする。
- ③ 内装材貼り全面よりやや内側の塗布に留めます。(塗布量の目安1.0~1.5kg/m²、ボード下地の場合)
- ④ 基本的に目地なし、下からの積み上げ施工とする。1枚毎に貼り付けます。
- ⑤ 内装材をもみ込むように圧着します。最下段の内装材のズレ防止として支持台、または釘等で支持する方法を推奨します。

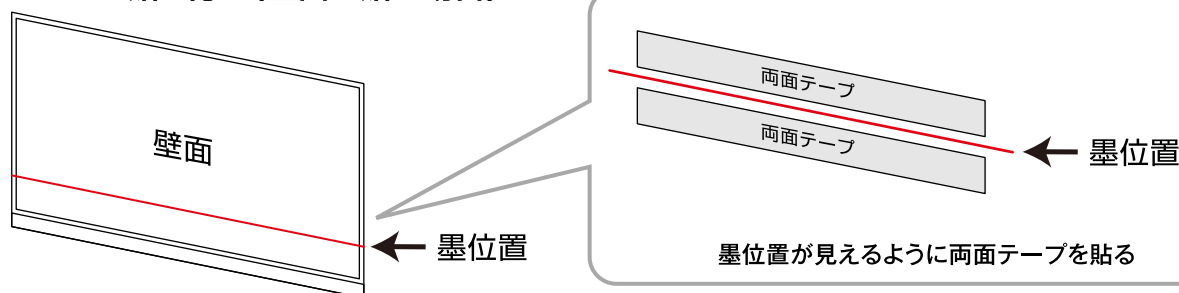


もみ込み方が弱いと所定の接着強度が出ずにパネルが脱落する可能性があります。
十分に、もみ込んでください。

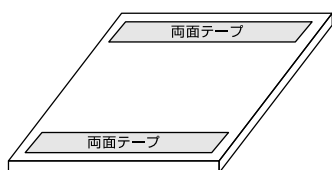
II. 接着剤全面塗布方式(簡易施工)

- ① 壁面の墨位置に対し、上下に発泡両面テープを水平方向に貼る。(墨位置は見えるようにしておきます。)
※両面テープは「ガウディア」に貼り付けても可。ただし、貼り付け位置は上下端部とします。
- ② 「ガウディア」裏面に接着剤を櫛引き塗布します。(外周1cm程度は残す)
- ③ 墨位置に沿って「ガウディア」を貼りつけます。

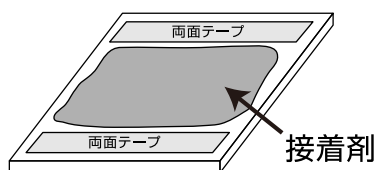
両面テープの貼り付け(壁面に貼る場合)



ガウディアへの両面テープ貼り



ガウディア裏面への接着剤塗布



詳細につきましては、直接メーカーにお問い合わせください。
ご使用にあたっては、製品に記載の取扱上の注意事項をよくお読みください。
上記専用接着剤以外を使用する場合は、使用者責任となります。

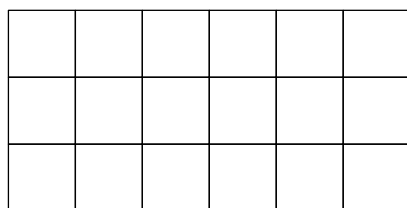
ガウディアを施工する場合の注意事項

- ①基本的に目地なしの下からの積み上げ施工とする。1枚毎に貼り付けます。
(割付けに無理がある場合は、貼り下げも可といたします)
- ②位置決めをしっかり行いながら、ゆっくり軽く押さえこみます。(L型スケールや水糸、下げ振りを使用します)

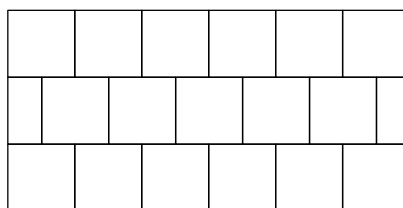


- ③位置調整が必要なときは、すみやかに行うこと。(一度押さえ込むとズラすことが難しくなるので慎重に行ってください)
- ④両面テープ面が確実に接着するように、端部を手でしっかり押さえ込むように貼り付けます。
- ⑤「ガウディア」には、上下、左右が決められておりませんが、1枚目と同じパターンの繰り返しとなるよう、横方向に貼っていきます。
- ⑥貼り方は、馬目地・芋目地ともに可能です。芋目地には、「ガウディア」間の目地が目立たなくなる利点があります。

貼り方例



馬目地貼り



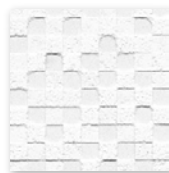
芋目地貼り

ガウディアを施工する場合の意匠上の注意



【レンガ】

レンガ調意匠は、左写真の様に、縦横の意匠方向性があります。
仕上がり上、縦もしくは横の意匠方向性に揃えて、室内に貼る事をお勧めします。



【グリッド】

グリッド調意匠は、左写真の様に、意匠方向性は特にございません。
従って、ガウディアを貼るときに、意匠の方向性を気にする必要はございません。



【モザイク】

モザイク調意匠は、左写真の様に、縦横の意匠方向性があります。
仕上がり上、縦もしくは横の意匠方向性に揃えて、室内に貼る事をお勧めします。



【ストーン】

ストーン調意匠は、左写真のように、横の意匠方向性があります。
厚みがある本品の陰影が生きるよう、溝をそろえて貼る事をおすすめします。

4-8. シーリング処理

- ①「ガウディア」間の目地については、シーリング工事は不要です。
- ②出入隅部・他部材との取合い部は必要に応じてシーリング処理をします。
- ③シーリングの打設に際しては、マスキングテープを使用し、へらで押さえて表面を整えるように施工してください。
- ④マスキングテープをはがして、硬化するまで養生します。



マスキング



入隅シーリング納め



へら

4-9. 仕上がり確認・補修・清掃

- ①仕上がり確認
 - ・貼り替えには、多大な時間と労力を要します。
 - ・貼り替えとならないように、施工時にチェックを十分に行ってください。
- ②補修
 - ・大きな欠けや亀裂が発生した場合は、貼り替えをお願いします。
 - ・微小な欠けやキズの場合は、補修用クレヨンを使用してください。
(補修用クレヨンは市販のもので、「ガウディア」に近い色のものを選んでください。)
- ③貼り替え
 - ・補修の範囲を超える大きな欠けや亀裂、意匠上目立つキズや汚れが生じた場合は、貼り替えを行ってください。
 - ・貼り替えるパネルを剥がす場合、接着剤が既に硬化している時は、タイルタガネ等で慎重に徐々に力を加え、最初に割れを発生させてください。
 - ・剥がす際は、他のパネルにキズをつけないように丁寧に剥がしてください。
 - ・硬化した接着剤を削り取ってください。新たな接着剤は不陸とならないように注意して塗布し「ガウディア」を押し込み取り付けてください。
- ④清掃
 - ・施工中に誤って接着剤等が「ガウディア」の表面に付着した場合は、直ちにウエスで拭き取ってください。
 - ・施工中の他の汚れ(手垢等)は消しゴム、粘着テープで除去してください。



詳細につきましては、直接メーカーにお問い合わせください。
ご使用にあたっては、製品に記載の取扱上の注意事項をよくお読みください。
専用シーリング剤(カラットコーク)以外を使用する場合は、使用者責任となります。

4-10. その他の注意事項

●取合いの部材について

一般的な施工において、「ガウディア」との取合い部には造作材の使用をお奨めします。
仕上りがきれいになるだけでなく、精度良く施工することができます。
また、巾木については9mm以上の厚みがあるものを使用すると見栄えがよくなります。

●装飾品の取り付けについて

絵画や時計等を壁面に取付けることが予め予定されている場合は、ピクチャーレール等を別途設置してください。



警告

手すり等、大きな繰り返し荷重が掛かるような部位の場合は、
「ガウディア」と構造ブラケットとは完全に縁を切ってください。
直接取り付けると脱落する恐れがありますので、絶対に行わないでください。

5-1. シーリング処理

- 「ガウディア」に画びょうや釘を打ち込まないでください。「ガウディア」が割れる恐れがあります。接着式のフックや両面テープ等を使うようにしてください。(使用に際しては事前に接着力をご確認ください)
- 「ガウディア」の上に、絵や時計等比較的重いものを掛ける場合には、必ずドリル等で先に「ガウディア」を貫通する穴を開けて、その穴部にビスを通して重さを支えられる下地に取り付けるようにしてください。ビスを取り付ける際は、締め込み過ぎに注意してください。「ガウディア」が割れる恐れがあります。
- 取合い部のシーリングは、建物の動き等によって切れることがあります。使用上の問題はありますが、美観上気になる場合は、打ち直してください。

5-2. 日常のお手入れ

乾いた布または水を固く絞ったきれいな布による拭き取りを行います。水をよく吸うので水洗い、水分の多い布での拭き取りは避けてください。お手入れの頻度は内装の掃除と同等程度でかまいません。



汚れの度合いによって完全に除去できない場合があります。

5-3. 汚れの落とし方

「ガウディア」は汚れの種類によって落とし方が異なります。

汚れの種類をご確認の上、適切な方法で落としてください。

① タバコのヤニ

乾いた布または水を固く絞ったきれいな布により拭き取ります。こびりついた汚れは塩素系漂白剤に浸した布で叩くように拭くと除去できます。
※汚れが残っている場合は繰り返し拭くと除去できます。

② 鉛筆

プラスチック製消しゴムで消えます。※模様の凹み部分の汚れは消しゴムの角で除去してください。

③ 水性ペン

水を固く絞ったきれいな布で拭き取ります。※汚れが残っている場合は塩素系漂白剤を綿棒等で塗布し、きれいな布で拭き取ると除去できます。

④ 油性ペン

塗料剥がし剤を綿棒等で塗り、溶け出した塗料を拭き取りながら薄くしていき、塩素系漂白剤を綿棒等で塗布し、きれいな布で拭き取ると除去できます。※汚れが残っている場合は上記の方法を繰り返すと除去できます。

⑤ コーヒー・お茶等の飲料水

付着後、広がらないように手早く拭き取ってください。拭き取った後、表面に付着の跡が残ってしまった場合は、塩素系漂白剤を綿棒等で塗布し、きれいな布で拭き取ると除去できます。

⑥ しょう油、ソース等の調味料

付着後、広がらないように手早く拭き取ってください。拭き取った後、表面に付着の跡が残ってしまった場合は、塩素系漂白剤を綿棒等で塗布し、きれいな布で拭き取ると除去できます。

⑦ 歯磨き粉

付着した汚れを歯ブラシなどでできるだけ取除き、プラスチック製消しゴムや粘着テープで擦りとりと除去できます。※汚れが残っている場合は固く絞った濡れ雑巾で拭いた後、プラスチック製消しゴムで擦りとりと除去できます。

⑧ 口紅

付着物を粘着テープで取り、残った汚れをプラスチック製消しゴムで擦ると除去できます。※口紅の種類によっては跡が残ってしまうことがあります。

⑨ キズ

少々キズはサンドペーパーでぼやかすことはできますが、擦りすぎると模様が崩れて意匠性が悪くなるので注意を要します。深いキズはシーリング材にて埋めるか、貼り換えになります。

5-4. 使用不可の道具

汚れた雑巾・砂消しゴム・キッチン用の固いスポンジ・金だわし・金ブラシ



注意

酸性の洗剤は使用しないでください。変色、変質のおそれがあります。

万が一、「ガウディア」に問題が発生した場合には、下記の免責事項を踏まえた上で弊社にて対応させていただきますので、ご連絡くださいますようお願いいたします。

- ①本マニュアルに記載された事項に反した設計・施工により問題が発生した場合。
- ②標準仕様以外に使用者の指示した仕様・施工方法等により問題が発生した場合。
- ③標準仕様以外の使用者から支給された材料・部品により問題が発生した場合。
- ④施工に起因する事故、現場管理に起因する問題が発生した場合。
- ⑤専用の副資材が使用されていないことが原因となり問題が発生した場合。
- ⑥建物の構造・下地の変形・老朽化や外部からの衝突等、弊社の製品以外の外的要因により問題が発生した場合。
- ⑦本マニュアルに記載した適切な維持管理が行われずに問題が発生した場合。
- ⑧引渡し後、構造・性能・仕様等の改変を行い、これによる問題が発生した場合。
- ⑨通常の経年変化に伴う劣化の場合。
- ⑩開発・製造・販売時に通常予想される環境(温度・湿度・気圧・水圧その他)等の条件下以外における使用・保管・輸送に起因する問題が発生した場合。
- ⑪地震・台風等の天災、火災等の特殊要因が原因となり問題が発生した場合。
- ⑫その他、不具合の原因が弊社製品品質によらないと認められる場合。